



《 陸上部女子駅伝チーム、県大会出場、おめでとうございます。 》

2月11日（金）博多の森陸上競技場で福岡県中学校新人駅伝競走大会が行われました。女子の部では、各地区を勝ち抜いた代表22チームの中に、津屋崎中学校の陸上部女子駅伝チームが筑前地区の代表として出場しました。1区：中田詩央梨さん（2年生）、2区：和田小粋さん（1年生）、3区：行武万魅さん（2年生）、4区：山本優華さん（2年生）、5区：岡野奈南さん（2年生）が走りました。県大会は、すべてのチームがとも速く、津屋崎中学校は5区間10.075kmを39分51秒で走り、トップとの差が4分39秒で20位でした。

県大会出場という結果は見事で、よく頑張った、ここまでできたという思いと、悔しさとがあったようですが、5人のファイト溢れる走りは、素晴らしかったです。 【↓：福岡県中学校新人駅伝競走大会の様子】



《 道徳の授業研修を行いました。 》

2月9日・10日に、本年度、新規採用となった渡辺友弘先生（2年生担任）と田中賢太先生（3年生担任）の道徳の授業研修を行いました。渡辺先生は、「本当の私」という題材で、オリンピックの金メダリストが悩んでいた末、自らドーピングを告白して、これまで獲得した賞金や全ての金メダルも返還した話についての授業でした。田中先生は、「背筋をのばして」という題材で、クリーニング店を営む両親の愛情や仕事に対する姿勢を尊敬しながら、自らの夢をかなえるために家業を継がずに東京へ向かう決断をした主人公と家族の思いを描いた話の授業でした。どちらも生き方について考えさせられるとても深い内容で、生徒たちは、真剣に考え、議論したり自分の考えを深めたりすることができていました。また、職員は、授業の前も後も、初任者指導教員が中心となって、授業の組み立てや、授業内容等についても会議を行い、より良い授業となるように指導の工夫改善を行いました。 【↓：2年生、3年生、道徳の授業の様子】



《 3年生は、福岡地区私立前期入試、1・2年生は、学力診断テストが行われました。 》

2月4日（金）3年生は福岡地区私立前期入試が行われ、1・2年生は、学力診断テストが行われました。3年生においては、入試形態が多様化し、私立高校のパラマ入試、専願入試や推薦入試、高専の推薦入試・学力入学選抜、北九州地区私立一般入試、福岡地区私立前期入試、県立高校の特色化選抜や推薦入試、古賀竟成館高校推薦入試、定時制課程の単位制Ⅰ期入試、福岡地区私立後期入試、等がこれまでに進んで行われてきています。まだこれからも、3年生は、古賀竟成館高校一般入学者選抜、県立高校一般入学者選抜、定時制課程の単位制Ⅱ期入試、個性重視の特別試験等を控えています。進路が内定した生徒、これからが一番大切な入試をむかえる生徒、それぞれ状況が違ってきています。生徒たちは周りの状況を見極めて、真剣に学習に取り組んで、周りへの配慮を今後も続けてもらえたらと思います。特に3年生は健康管理に心がけ、心身を安定させて、これまでと同様に、これから卒業までの2週間を過ごしてほしいと思います。

1・2年生は、今回の学力診断テストに向けて、毎朝、朝読書の代わりに10分間「朝の学習」を行い、水曜日7時5分と、木曜日の6時5分に「学力向上25」と「学力向上50」と名付けて学力向上の取組を行ってきました。その結果、2月4日（金）の学力診断テストは、1・2年生とも、ほぼすべての教科で県平均を上回り、総得点でも平均で20点近く県平均を上回ることができました。どの教科も対策がなされ、生徒はよく勉強していましたが、特に1年生の英語や数学が県平均よりも5点以上高く、2年生の理科や社会が県平均よりも5点から10点以上高い結果となっていました。他の教科も県平均を十分上回り、学力が向上した様子が見られました。現在は、蔓延防止期間中で、放課後の部活動ができない状況なので、「朝の学習」を「帰りの学習」に切り替えて、学力向上の取組を行っています。次は4月のテストに向けて、勉強を頑張ってください。

《 3年生の部活動の元部長二人の作文です。 》

3年生は卒業を3月11日にひかえ、進路も内定した生徒も増えてきています。例年ならば、部活動に参加して、自分の練習や後輩の指導、練習の手伝い等行っている時期ですが、現在、部活動が中止となっているため例年とは違った、中学校の放課後となっています。

【 秦 蒼月 （元剣道部部長） 】

私は、目指してきた高校に推薦入試で合格（内定）することができました。その高校を目指した理由は、勉強と部活動（剣道）を両立することができ、大学へ進学することができると考えたからです。

私は、特に生徒会活動と部活動を頑張ってきました。生徒会活動では、2年間生徒会役員として学校がより良くなるように頑張ってきました。委員の皆さんと共に取組をすることができ、とてもいい経験になりました。部活動では、私の学年の部員が、私一人しかいない中、主将として頑張ってきました。主将として難しい局面にもぶつかってきましたが、後輩たちと協力して、乗り切ることができました。私は、これまで、たくさんの先生方と保護者に支えられ頑張ることができました。高校では、中学校で学んだことを生かして、勉強と部活動（剣道）を両立させて、大学に進学できるよう頑張っていきます。

【 米倉 壮真 （元男子バスケットボール部部長） 】

僕は中学校三年間バスケットボール部でした。部員は16名です。僕のチームメイトは、みんな練習に熱心で、誰にも負けたくないという強い気持ちで、切磋琢磨しながら頑張りました。みんなバスケが上手で、とても仲がよいチームでした。キャプテンとして悩んだ時もありましたが、みんなが僕を支えてくれて本当に感謝しています。そんな最高のチームだからこそ、県大会ベスト8という結果を残せたと思います。僕は三年間を通して、練習が出来る環境の大切さや、支え合う仲間の大切さを感じました。また、忙しい中、バスケを教えてくださいました先生方、サポートして頂いた保護者の皆様、ありがとうございました。

1・2年生のみなさん、どんな時も弱音を吐かず、僕たちについてきてくれてありがとう。これからいろいろなことがあると思いますが、自分を信じて仲間を信じて目標に向かって頑張ってください。3年生のみんな、僕はこのチームのキャプテンになれたことをとても誇りに思います。こんな最高の思い出をみんなと作れてとても嬉しかったです。このバスケ部のみんなは僕の宝物です。僕は、佐賀の高校に行きます。必ず全国大会に出て、トッププレイヤーになってきます。

《 おはよう Tuesday 》

毎週火曜日の朝、生徒会の取組で、朝のあいさつ運動が行われています。「おはよう Tuesday」と名前を付けられてからも十数年続いている伝統ある取組になっています。寒い日が続いていますが、朝8時すぎからの、校門でのあいさつ運動を、1・2年生の生徒会役員が中心となって、元気よく行っています。

